



平成27年5月8日

各位

上場会社名 ソマール株式会社
 代表者 代表取締役社長 曾谷 太
 (コード番号 8152)
 問合せ先責任者 IRC部長 田原 房枝
 (TEL 03-3542-2160)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向において、当社の営業損益状況が前回予想よりも好転している状況を踏まえ、平成27年1月30日に公表した連結及び個別の通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

また、清算手続中の当社子会社ソマテック株式会社の特別清算の申立が諸般の状況下で遅れているため、当該子会社が保有する有形固定資産に係る再評価を行った結果、平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)において下記の通り特別損失の計上を行いますので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,500	△510	△510	△2,700	△138.92
今回修正予想(B)	23,892	△287	△350	△2,759	△141.99
増減額(B-A)	392	222	159	△59	
増減率(%)	1.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	23,538	△1,040	△987	△1,601	△82.39

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,300	330	△2,800	△144.06
今回修正予想(B)	22,721	462	△2,804	△144.29
増減額(B-A)	421	132	△4	
増減率(%)	1.9	40.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	22,888	166	△2,980	△153.32

修正の理由

1. 業績予想の修正理由

当社の営業損益においては、コーティング製品や高機能樹脂製品の販売が前回予想よりも上振れして堅調に推移しており、また、コスト低減への取り組みの効果も進展したことで、経常損益の段階では予想を上回る利益見通しとなりました。そのため、個別の業績において経常利益の数値を上方修正するとともに、連結の業績においても前回予想した営業損失及び経常損失の各数値を上方修正しました。

なお、最終損益の段階では、次に記載した特別損失の計上を行うため、前回予想した連結及び個別の当期純損失の水準に止まる見込みであります。

(注) 上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 特別損失計上の主な内容とその理由

(1)ソマテック株式会社が保有する有形固定資産の減損に基づく事業撤退損等の追加計上(連結決算)

子会社ソマテック株式会社は平成26年12月31日に解散し、現在その清算手続を行っておりますが、当初の予定では平成27年2月下旬に特別清算の申立を行い、平成27年4月下旬には清算終了とすべく進めてきました。しかし

諸般の状況下でその特別清算の申立が遅れているため、当該子会社が保有する有形固定資産について直近の状況を踏まえあらためて再評価を行いました。

その結果、当該子会社が保有する有形固定資産の減損に基づく事業撤退損を主な内容とする特別損失355百万円を連結決算で追加計上することとしました。

なお、当該子会社の今後の清算手続の日程につきましては、平成27年度内において特別清算の申立を行い、同年度内には清算終了とすべく引き続き努めてまいります。

(2)関係会社貸倒引当金繰入額の追加計上(個別決算)

上記の(1)で記載した特別損失の計上によって当該子会社の当期純損失の額が膨らむこととなるため、当社から当該子会社への長期貸付金等に係る関係会社貸倒引当金繰入額の増額を行うこととし、特別損失としてその増額分340百万円を個別決算で追加計上することとしました。

※ 上記(2)の関係会社貸倒引当金繰入額の追加計上については、連結上相殺消去されるため、当該特別損失が連結業績に与える影響はありません。

以 上